

政策目標 3

心豊かな人を育み、

生涯にわたって学習できるまち

第四次総合計画 第十次基本計画・実施計画（目的指向体系表）

政策目標 3	心豊かな人を育み、生涯にわたって学習できるまち
施策分野 1	教育環境の整備
基本計画	児童・生徒が学習しやすいまちを目指します。

主担当課	教育総務課
関係課	—
作成年月日	R3.4.1

1 基本計画の達成状況

基本計画（目標）	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
児童・生徒が学習しやすいまちを目指します。	学校規模の標準を下回る学校について、学校統合等により適正規模に近づけることの適否 教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数	目標値	適否の検討	適否の決定	決定に基づく対応の協議	決定に基づく対応の協議	取組方針の決定	教育総務課
		実績値	検討委員会による検討	検討委員会による建議	教育問題懇話会による答申	基本方針の策定	川奈小・南小統合の実現	
		目標値	8.0人	6.2人	5.0人	4.2人	3.6人	//
		実績値	7.0人	6.8人	6.4人	6.3人	0.9人	
指標の達成度 《今年度実績評価》	<p>「伊東市立小中学校の規模及び配置の適正化に向けた基本方針」における「令和3年4月に川奈小学校と南小学校を統合」を実現し、また、「令和5年4月に東小学校と西小学校と旭小学校の3校を1校に統合」についても基本構想を策定し、統合後の校舎を東小学校に決定、保護者説明会等を実施した。</p> <p>GIGAスクール構想に基づき、児童生徒1人1台端末と川奈小を除く全校の校内無線LANを整備した。 新学習指導要領の実施を見据え、中学校の全普通教室（53室）及び一部の特別教室（15室）に電子黒板を整備した。</p>							

2 目標を達成するための具体的な方策の進捗状況

目標を達成するための具体的な方策	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O1 少子化や地域の特性に対応した活力ある学校づくりの検討	学校規模の標準を下回る学校について、学校統合等により適正規模に近づけることの適否	目標値	適否の検討	適否の決定	決定に基づく対応の協議	決定に基づく対応の協議	取組方針の決定	教育総務課
		実績値	検討委員会による検討	検討委員会による建議	教育問題懇話会による答申	基本方針の策定	川奈小・南小統合の実現	
O2 学校施設の環境整備及び老朽化対策	全ての小中学校に共通する改修工事件数	目標値	44件	38件	26件	15件	0件	//
		実績値	30件	14件	11件	9件	9件	
O3 学校給食センターを最大限に活用した食育と地産地消の推進	異物混入、アレルギー、食中毒等、給食を原因として人体に影響を及ぼす事故の発事件数（市内全校）	目標値	0件	0件	0件	0件	0件	//
		実績値	0件	0件	0件	0件	0件	
O4 *ICT教育環境整備の充実	教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数	目標値	8.0人	6.2人	5.0人	4.2人	3.6人	//
		実績値	7.0人	6.8人	6.4人	6.3人	0.9人	
指標の達成度 《今年度実績評価》	O1 「伊東市立小中学校の規模及び配置の適正化に向けた基本方針」における「令和3年4月に川奈小学校と南小学校を統合」を実現し、また、「令和5年4月に東小学校と西小学校と旭小学校の3校を1校に統合」についても基本構想を策定し、統合後の校舎を東小学校に決定、保護者説明会等を実施した。							
	O2 早急な対応が必要となる修繕等は行ったが、校舎屋上防水工事・校舎トイレ改修工事等の全ての小中学校に共通する改修工事については、学校に関する工事全体の進捗を検討する中で令和2年度は工事を実施しなかった。今後も計画的に改修工事を実施していく。							
	O3 市の給食関係職員と委託会社職員が連携し研鑽を積むことで、衛生管理や食物アレルギー対応等に関わる作業の注意事項について情報の共有と定期的な確認を行い、給食を原因とした人体に影響を及ぼす事故の発生を妨ぐことができた。							
	O4 GIGAスクール構想に基づき、児童生徒1人1台端末と川奈小を除く全校への校内無線LANを整備した。 新学習指導要領の実施を見据え、中学校の全普通教室（53室）及び一部の特別教室（15室）に電子黒板を整備した。							

※ICT：情報通信技術（Information and Communication Technology）

3 具体的な方策を構成する手段の進捗状況

手段（4桁コード）内容		管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O101	小中学校の規模と配置の適正化	学校規模や配置状況に対する市民意向調査	目標値	実施	実施	実施	実施	実施	教育総務課
			実績値	未実施	実施	教育問題懇話会による答申	基本方針の策定	保護者説明会等の実施	
O102	小中学校と幼稚園・保育園の一体的な今後のあり方の検討	一体的な検討組織による検討	目標値	検討	検討	検討	検討	取組方針の決定	//
			実績値	検討	建議	教育問題懇話会による答申	基本方針の策定	川奈小・南小統合完了	
今年度の改善ポイントや重点方向等	<p>O101～O102 川奈小学校・南小学校統合地域協議会での決定事項について、通学における安全対策や経済的な支援等の制度として具体化した。また、今後統合する3校の保護者の意向については、3校PTAから要望書をいただくことができたため、今後はこれを基に学校統合地域協議会での検討を進めていく。</p> <p>検討を進めた結果、令和元年度に基本方針を策定することができ、令和3年4月の川奈小学校・南小学校の統合を実現することができた。</p>								

O2 学校施設的环境整備及び老朽化対策									
手段（4桁コード）内容		管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
0201	学校校舎トイレの改修 （床の乾式化・洋式便器の増設等）	小・中15校で改修	目標値	7校	9校	11校	13校	15校	教育総務課
			実績値	9校	11校	12校	13校	13校	
0202	映像装置のデジタル化改修	小・中15校で改修	目標値	3校	6校	9校	12校	15校	〃
			実績値	5校	6校	6校	6校	6校	
0203	校舎屋上防水工事の実施	屋上防水設備が老朽化している小・中5校で改修	目標値	1校	2校	3校	4校	5校	〃
			実績値	2校	4校	6校	7校	7校	
0204	校舎窓ガラスへの飛散防止フィルムの施工	小・中15校で改修	目標値	4校	9校	15校	事業完了	事業完了	〃
			実績値	4校	15校	15校	事業完了	事業完了	
今年度の改善ポイントや重点方向等	0201 今後は南・門野中学校の校舎トイレを整備予定。床のドライ化、照明のLED化、洋式便器の増設等を予定しているが、使用できる設備については既存のままとすることで、コスト削減を目指す。								
	0202 各教室のデジタルテレビ（電子黒板）の整備と併せて検討していく予定だったが、電子黒板のみの整備となった。次年度以降計画的に改修を行っていく。								
	0203 令和元年度で事業完了。								
	0204 平成29年度で事業完了。								

O3 学校給食センターを最大限に活用した食育と地産地消の推進									
手段（4桁コード）内容		管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
0301	安全な学校給食の提供	異物混入、アレルギー、食中毒等、給食を原因として人体に影響を及ぼす事故の発生件数（市内全校）	目標値	0件	0件	0件	0件	0件	教育総務課
			実績値	0件	0件	0件	0件	0件	
0302	魅力ある学校給食の提供	給食における残食率（市内全校）	目標値	対前年減	対前年減	対前年減	対前年減	対前年減	〃
			実績値	5.02%	5.19%	4.79%	4.93%	6.24%	
0303	学校給食を通じた食育の推進	給食の時間における食に関する年間指導計画の作成率	目標値	8校/15校	12校/15校	15校/15校	15校/15校	15校/15校	〃
			実績値	10校/15校	12校/15校	12校/15校	13校/15校	14校/15校	
0304	学校給食を活用した地産地消の推進	給食食材を納入する地元農家軒数（市内全校）	目標値	対前年増	対前年増	対前年増	対前年増	対前年増	〃
			実績値	4軒	4軒	7軒	7軒	9軒	
今年度の改善ポイントや重点方向等	0301 給食センターを拠点に情報の共有を図り、安心安全な給食提供の実現に努めた。令和2年度は、施設ごとに点検項目に沿って運営方法や衛生管理について作業確認を実施し意識の向上に努めた。								
	0302 献立のあり方について検討する会議を設け、ふるさと給食や地産地消等を活用した魅力ある給食の提供を図ったものの、新型コロナウイルス感染症の拡大が喫食行動に影響を及ぼしたのか、過去5年間で最も高い残食率となった。								
	0303 栄養教諭を中核に、市内の小中学校で給食の時間や教科において、計画的な食指導を実施した。今後も給食関係職員が定期的に給食センターで情報交換を実施することにより、体系的な指導の実現を目指す。								
	0304 地元農家9軒をはじめ、地元で生産された野菜等を納入する業者が増え、安定的に使用することができた。「地産地消推進事業」がさらに活用できるよう、献立作成研修に力を注ぎ、新たな食材の情報収集を働き掛けていきたい。								

04 ICT教育環境整備の充実										
手段（4桁コード）内容		管理指標			H28	H29	H30	R1	R2	担当課
0401	教育用パソコンの普通教室配置（各普通教室に1台）	小学校	110台	目標値	0台	50台	100台	150台	168台	教育総務課
		中学校	58台	実績値	0台	0台	0台	106台	3,890台	
0402	教育用パソコンの特別教室配置（1校6台）	小学校	60台	目標値	0台	25台	50台	75台	90台	〃
		中学校	30台	実績値	0台	0台	10台	10台	3,890台	
0403	設置場所を限定しない可動式コンピュータ（タブレット）（1校40台）	小学校	345台	目標値	15台	150台	300台	450台	545台	〃
		中学校	200台	実績値	66台	66台	77台	77台	3,890台	
0404	電子黒板の普通教室配置（各普通教室に1台）	小学校	110台	目標値	10台	50台	100台	150台	168台	〃
		中学校	58台	実績値	15台	15台	15台	106台	159台	
0405	実物投影機の普通教室配置（各普通教室に1台）	小学校	110台	目標値	10台	50台	100台	150台	168台	〃
		中学校	58台	実績値	10台	10台	10台	69台	69台	
0406	超高速インターネット接続率	小・中15校で接続		目標値	13校	15校	15校	15校	15校	〃
		実績値		13校	15校	15校	15校	15校		
0407	無線LAN整備済校数	小・中15校で整備		目標値	5校	5校	5校	10校	15校	〃
		実績値		0校	0台	0台	0校	14校		
0408	校務支援システム整備	小・中15校で整備		目標値	0	0	小学校5校	中学校10校	小中学校15校	〃
		実績値		0	0	小中学校15校	小中学校15校	小中学校15校		
今年度の改善ポイントや重点方向等	0401 新学習指導要領の実施を踏まえ、中学校校の全普通教室（53台）及び一部の特別教室（15台）に電子黒板を整備した。									
	0407 GIGAスクール構想に基づき、児童生徒1人1台端末（タブレット）3,890台と、川奈小学校を除く小中学校14校に校内無線LAN整備を行った。									
	0408 平成29年度に整備を完了し、平成30年度から全小中学校（15校）で運用を開始した。									

4 市民の皆さんと一緒に進めていく方策

方策	《令和2年度末時点の活動状況》	《令和3年度の改善ポイントや重点方向等》
01 保護者と地域の方たちとの協働による教育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、PTA等による奉仕活動等を行った学校は少なかったが、地域の団体が校内の消毒活動に協力いただくなど、これまでとは違った形で地域の方々との協働による教育環境の整備が図られた。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、PTAと教職員による学校内の清掃奉仕作業を中心に、協働により教育環境の整備を図るとともに、市職員もこれらの活動に積極的に参加するなどして、更なる協働を目指す。

第四次総合計画 第十次基本計画・実施計画（目的指向体系表）

政策目標	3	心豊かな人を育み、生涯にわたって学習できるまち
施策分野	2	教育の充実（幼稚園）
基本計画		どの子ども夢を持ち、のびのびと活動する園のあるまちを目指します。

担当当課	幼児教育課
関係課	-
作成年月日	R3.4.1

1 基本計画の達成状況

基本計画（目標）	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
どの子ども夢を持ち、のびのびと活動する園のあるまちを目指します。	幼稚園が楽しいと思う子どもの割合	目標値	100%	100%	100%	100%	100%	幼児教育課
		実績値	96.5%	98.4%	99.0%	99.3%	99.0%	
指標の達成度 《今年度実績評価》	目標値に及ばなかったものの、公立幼稚園7園の保護者の99%が「園児にとって園生活が楽しいものとなっている」と回答しており、今後も引き続き、教育の質の向上を図るとともに、施設及び遊具の整備を行い、園児が安心して楽しく園生活を過ごすことができる環境を維持する。							

2 目標を達成するための具体的な方策の進捗状況

目標を達成するための具体的な方策	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O1 幼稚園教育の充実	幼稚園の教育内容への満足度	目標値	90%	90%	90%	90%	90%	幼児教育課
		実績値	97.7%	97.3%	99.0%	98.7%	97.3%	
O2 子育てニーズに応じた幼保連携の推進	認定こども園の設置数	目標値	0園	1園	2園	2園	2園	〃
		実績値	0園	0園	0園	0園	0園	
O3 認定こども園（幼保一体化施設）の整備や就学に向けた幼保連携の推進	認定こども園の施設数	目標値	0園	0園	0園	1園	2園	〃
		実績値	0園	0園	0園	0園	0園	
O4 保護者とともに子どもの育ちを支える支援の推進	預かり保育の実施園	目標値	2園	5園	10園	9園	7園	〃
		実績値	2園	3園	4園	5園	5園	
O5 集団保育を実施するための環境整備	1園当たりの平均園児数	目標値	50人	50人	60人	60人	60人	〃
		実績値	50.3人	46.2人	46.0人	44.8人	47.9人	
指標の達成度 《今年度実績評価》	<p>O1 「自分の子どもは幼稚園が掲げる教育目標に近付いている」と回答した保護者の割合は、目標値を上回る97%以上となり、今後も引き続き、教育の質の向上を図る。</p> <p>O2 公立による認定こども園設置に向け、公立幼稚園・保育園のあり方検討委員会を立ち上げ、2回の会議を実施した。</p> <p>O3 令和3年度から民間事業所において市内初の認定こども園（幼保連携型）を設立することとなり、その実施内容について、市と法人とで情報交換を重ねた。</p> <p>O4 預かり保育専用の教室を確保することが困難なため、全園実施の目標は達成出来ていないが、実施園においては利用者に対してアンケート調査を実施し、利用者のニーズ把握に努めた。</p> <p>O5 公立幼稚園・保育園のあり方検討委員会を2回開催した。引き続き、集団保育に必要な適正規模と適正配置に向けた取組を進める。</p>							

3 具体的な方策を構成する手段の進捗状況

O1 幼稚園教育の充実									
手段（4桁コード）	内容	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O101	地域の特色を生かした幼稚園経営計画の策定	幼稚園経営計画策定園数	目標値	12園	12園	10園	9園	7園	幼児教育課
			実績値	12園	12園	10園	9園	7園	
O102	幼稚園体力向上づくり事業等の実施園	幼稚園独自の活動実施園数	目標値	3園	5園	10園	9園	7園	〃
			実績値	3園	3園	2園	2園	1園	
今年度の改善ポイントや重点方向等	<p>O101 各園において幼稚園経営計画策定を実施した。</p> <p>O102 富士見分園独自の活動として、外部の講師を招いた体操教室（チャレンジタイム）を実施している。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえながらの短い期間での開催となったが、コロナ禍により身体を動かす機会が減った園児にとって貴重な時間となった。なお、令和元年度に体操教室を実施していた南幼稚園が令和2年度から休園となったため実績値は1園減少となった。</p>								

O2 子育てニーズに応じた幼保連携の推進

手段（4桁コード）	内容	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O201	私立幼稚園の認定こども園移行	私立認定こども園数	目標値	0園	1園	1園	1園	1園	幼児教育課
			実績値	0園	0園	0園	0園	0園	
O202	公立幼稚園の認定こども園移行	公立認定こども園数	目標値	0園	0園	1園	1園	2園	〃
			実績値	0園	0園	0園	0園	0園	
O203	保育園人事交流の経験者数	保育園研修者の実施割合	目標値	0%	2%	5%	10%	20%	〃
			実績値	0%	0%	0%	0%	0%	
今年度の改善ポイントや重点方向等	<p>O201 令和3年度から民間事業所において市内初の認定こども園（幼保連携型）を設立することとなり、その実施内容について、市と法人とで情報交換を重ねた。これらの実施状況を踏まえ、私立幼稚園2園とも情報交換に努める。</p> <p>O202 公立による認定こども園設置に向け、公立幼稚園・保育園のあり方検討委員会を立ち上げ、2回の会議を実施した。</p> <p>O203 幼稚園教諭を対象とした公立の認定こども園設立を見据えた保育園保育研修等の開催については、新型コロナウイルス感染症拡大防止もあって令和2年度も実施は出来ず、双方の職員人事交流に留まった。</p>								

O3 認定こども園（幼保一体化施設）の整備や就学に向けた保幼連携の推進									
手段（4桁コード）内容		管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
0301	認定こども園の整備	施設数	目標値	0園	0園	0園	1園	2園	幼児教育課
			実績値	0園	0園	0園	0園	0園	
0302	職員相互交流の推進	保育園・幼稚園間の交流研修参加人数	目標値	16人	16人	16人	16人	16人	〃
			実績値	15人	18人	10人	3人	1人	
0303	資質向上のための職員合同研修会等の開催	研修会等開催回数	目標値	年2回	年2回	年3回	年3回	年3回	〃
			実績値	年1回	年1回	年1回	年1回	未実施	
今年度の改善ポイントや重点方向等		0301 公立による認定こども園設置に向け、公立幼稚園・保育園のあり方検討委員会を立ち上げ、2回の会議を実施した。							
		0302 幼稚園教諭と保育士の相互交流については、令和2年度は各1人の参加で実施した。							
		0303 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度において幼保職員の相互交流による研修等の実施は見送った。							

O4 保護者ととも子どもを育ちを支える支援の推進									
手段（4桁コード）内容		管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
0401	幼稚園での預かり保育の利用者	1園当たりの預かり保育利用者	目標値	15人	15人	20人	20人	20人	幼児教育課
			実績値	8.9人	8.5人	11.7人	11.2人	10.4人	
0402	特別支援配置園数	特別支援配置園	目標値	12園	12園	10園	9園	7園	〃
			実績値	9園	10園	9園	9園	7園	
今年度の改善ポイントや重点方向等		0401 市立幼稚園全7園中5園で実施している。新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年4～5月の利用者数が減少したため、目標値に届かず、また利用者数も昨年度減に転じたが、引き続き利用者の増加を目指し、実施日及び実施時間の拡大を図る。							
		0402 特別に支援を必要とする園児の状況に応じ、全園に必要な人数の特別支援員を配置し、円滑な園運営を実施した。							

O5 集団保育を実施するための環境整備									
手段（4桁コード）内容		管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
0501	複式クラス幼稚園の統合	複式学級幼稚園数	目標値	1園	1園	1園	0園	0園	幼児教育課
			実績値	1園	2園	0園	2園	0園	
今年度の改善ポイントや重点方向等		0501 令和元年度に複式学級となった鎌田、南幼稚園を令和2年3月31日をもって休園したため、令和2年度は複式学級による園はなかった。引き続き、集団保育に必要な適正規模と適正配置に向けた取組を進める。							

4 市民の皆さんと一緒に進めていく方策

方策	《令和2年度末時点の活動状況》	《令和3年度の改善ポイントや重点方向等》
01 地域行事・園行事を通しての地域住民との相互交流	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民との相互交流の一環として地域行事への参加や、中高生の職場体験の受入を行ってきたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止を優先して令和2年度は参加や受入を見送った。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域行事と幼稚園行事との相互交流を積極的に行うとともに、市のホームページを利用し園行事の周知に努める。
02 幼稚園外部評価委員会	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民代表や保護者代表の委員による評価委員会を各園で年2回開催した。 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、委員による参観会（運動会、参観会、発表会）は中止し、保護者アンケートの結果やコロナ対策に向けた園の工夫などを踏まえた意見交換を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 評価結果に基づき、各園において運営の改善を行い、園長会等で情報の共有を行うとともに、教育委員会と園と対応の協議を図っていく。

第四次総合計画 第十次基本計画・実施計画（目的指向体系表）

政策目標 3	心豊かな人を育み、生涯にわたって学習できるまち	担当課	教育指導課
施策分野 3	教育の充実（小・中学校）		教育総務課
基本計画	子どもたちの夢や希望を育む学校のあるまちを目指します。	作成年月日	R3.4.1

1 基本計画の達成状況

基本計画（目標）	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
子どもたちの夢や希望を育む学校のあるまちを目指します。	学校が楽しいと思う子どもの割合（小学校）	目標値	91%	92%	93%	94%	95%	教育指導課
		実績値	89.7%	90.4%	89.9%	88.6%	90.2%	
	学校が楽しいと思う子どもの割合（中学校）	目標値	82%	84%	86%	88%	90%	//
		実績値	79.4%	80.2%	85.0%	83.6%	86.6%	
指標の達成度 《今年度実績評価》	小学校、中学校ともに目標値は下回るものの、実績値は増加している。令和2年度は新型コロナウイルス感染症による休校があったことから、児童生徒が学校が楽しい場所だということを改めて認識した結果と推察される。児童生徒がこのように感じている中で、学校生活においては、児童生徒が適切な対人関係を築く能力や、主体的に学ぶ意欲・態度を育てていくことが重要と考える。							

2 目標を達成するための具体的な方策の進捗状況

目標を達成するための具体的な方策	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課	
O1 「学びを楽しむ力」の育成	授業が分かると思う子どもの割合	目標値	83%	85%	87%	88%	90%	教育指導課	
		実績値	84.8%	85.5%	87.3%	87.4%	89.6%		
O2 「人として備えたい力」の育成	近所の人や知り合いの人にあいさつをしている子どもの割合	目標値	88%	88%	89%	89%	90%	//	
		実績値	87.3%	87.1%	89.7%	89.1%	88.9%		
O3 「命を守る力」の育成	朝食を摂取している子どもの割合	目標値	98%	98%	99%	99%	100%	教育総務課	
		実績値	98.4%	97.9%	98.2%	98.0%	97.3%		
O4 地域社会との連携推進	地域の行事や活動に積極的に参加している子どもの割合	小学校	目標値	79%	80%	81%	82%	83%	教育指導課
		実績値	78.7%	78.4%	77.2%	77.5%	66.7%		
		中学校	目標値	62%	64%	66%	68%	70%	//
		実績値	62.2%	57.3%	56.4%	59.4%	50.3%		
O5 教育的支援体制の充実	市就学支援委員会の判定に基づき、適正に就学した子どもの割合	目標値	72%	74%	76%	78%	80%	//	
		実績値	62.0%	62.7%	59.9%	58.0%	68.9%		

指標の達成度 《今年度実績評価》	O1	「授業が分かると思う子どもの割合」は、微増ではあるものの着実に実績値は上がってきている。これは全国学力・学習状況調査の結果とも合致しており、基礎的な学力の定着が図られていることの現れと思われる。また、ICT機器の配備をはじめとした学習環境の整備が進められていることも学習意欲の向上に影響していると考えられる。
	O2	新型コロナウイルス感染症により他者との関わりが減少し、実績値が令和元年度と比べ減少したと考えられ、目標が達成できなかった。休校や外出が制限される中であっても、身近な人や友達との関わりの中で人として持つべき規範意識を育てていきたい。
	O3	県内平均を0.1ポイント上回ったものの、昨年度より0.7ポイントの低下となった。傾向としては、低年齢からの朝食欠食が顕著であることから、引き続き栄養教諭を中核とした朝食摂取の重要性や、実践につながる手立てを講じる必要がある。幼、小、中における園児、児童、生徒と保護者への啓発を関係各課、園、学校と連携し実施していくことが大切である。
	O4	小学校、中学校ともに令和元年度と比べ実績値は減少し、目標値を大きく下回る結果となった。これは、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、外出制限や地域の行事が軒並み中止されたことによるものであり、現在も不要不急の外出を控えることが推奨され、この傾向は継続すると考えられる。
	O5	依然として目標値を大きく下回る状況である。特別な支援を必要とする児童生徒が増加する中で、児童生徒の状況を的確に把握するため就学指導委員会の審査方法を改善するとともに、保護者の立場に立った適切な支援を行っていく。

3 具体的な方策を構成する手段の進捗状況

O1 「学びを楽しむ力」の育成									
手段（4桁コード）内容		管理指標		H28	H29	H30	R 1	R2	担当課
O101	教職員の資質向上	信頼できる先生がいると答えた子どもの割合	目標値	80%	81%	82%	83%	84%	教育指導課
			実績値	79.7%	82.2%	84.8%	84.8%	85.2%	
O102	外国語活動の推進	外国人や外国の文化に興味を持ち、積極的に接している子どもの割合	目標値	60%	62%	64%	66%	68%	〃
			実績値	59.8%	59.7%	62.4%	65.4%	61.0%	
O103	読書好きな子どもの育成	1週間に1回以上読書している子どもの割合(漫画・雑誌等を除く)	目標値	70%	72%	74%	76%	78%	〃
			実績値	66.0%	68.1%	69.0%	67.3%	68.8%	
今年度の改善ポイントや重点方向等	O101 令和元年度に比べ実績値が増加している。校内及び校外における研修を充実させた結果として、職員の資質向上に繋がっているため、引き続き研修の充実を図っていく。								
	O102 新型コロナウイルス感染症の感染防止による2か月の休校により、ALTを活用した授業時数が減少したことに伴い実績値は減少した。小学校においては、ALTとICT機器を活用した英語の学習を通じ、外国人や外国の文化に興味を持つ子どもの増加を目指す。								
	O103 前年度実績値を超える結果となった。休校に伴い自宅で過ごすことに伴い、読書に親しむ時間が増加したためと推察される。家庭においては、改めて読書の楽しさを再認識していただき、学校においては、図書館司書の配置を通じ、学校図書館の充実を図るとともに、各学校において朝読書の時間等を設定することで本に親しむ児童生徒を増やしていく。								

O2 「人として備えたい力」の育成									
手段（4桁コード）内容		管理指標		H28	H29	H30	R 1	R2	担当課
O201	あいさつの奨励	近所の人や知り合いの人にあいさつをしている子どもの割合	目標値	88%	89%	90%	91%	92%	教育指導課
			実績値	87.2%	87.1%	89.7%	89.1%	88.9%	
O202	道徳教育の充実	困っている人には手助けをすと答えた子どもの割合	目標値	86%	87%	88%	89%	90%	〃
			実績値	87.2%	86.2%	88.6%	90.1%	91.2%	
O203	環境教育の充実	環境を守ることの大切さを理解した行動をしている子どもの割合	目標値	83%	84%	85%	86%	87%	〃
			実績値	84.2%	84.9%	85.9%	85.7%	81.6%	
今年度の改善ポイントや重点方向等	O201 接触機会が減少したため実績値は微減となった。あいさつを基本的な生活習慣として身に付けるため、引き続き、日常生活の中で自然にあいさつを交わすことができるよう、発達段階に応じた指導を行っていく。								
	O202 年々実績値は増加しており、人として持つべき規範意識が確実に芽生えていることがうかがえる。引き続き道徳の授業や学校生活における人との関わりの中で、規範意識や社会性を身に付けていけるよう適切な指導を行っていく。								
	O203 休校に伴い環境教育の機会が減少し、実績値も減少した。世界的に環境問題が重視され始めていることから、アースキッズ事業などを活用し、環境を守ることの大切さを伝えるとともに、身近な取組を紹介することで関心や興味を持ってよう指導を行っていく。								

O3 「命を守る力」の育成										
手段（4桁コード）内容		管理指標		H28	H29	H30	R 1	R2	担当課	
O301	安定した生活習慣づくりの推進	朝食を摂取している子どもの割合	目標値	98%	98%	99%	99%	100%	教育総務課	
			実績値	98.4%	97.9%	98.2%	98.0%	97.3%		
O302	運動習慣づくりの推進	1週間の総運動時間が7時間以上の子どもの割合	小学校	目標値	40%	43%	46%	49%	52%	教育指導課
			小学校	実績値	41.3%	43.2%	43.6%	43.6%	-	
			中学校	目標値	72%	74%	76%	78%	80%	〃
			中学校	実績値	75.4%	71.2%	76.5%	76.7%	71.5%	
O303	体力・運動能力の向上	新体力テスト(8種目)の結果が、県平均以上である種目数の割合	目標値	67%	70%	73%	76%	78%	〃	
			実績値	62.5%	56.3%	75.0%	75.0%	-		
今年度の改善ポイントや重点方向等	O301 県内平均を0.1ポイント上回ったものの、昨年度より0.7ポイントの低下となった。傾向としては、低年齢からの朝食欠食が顕著であることから、引き続き栄養教諭を中核とした朝食摂取の重要性や、実践につながる手立てを講じる必要がある。幼、小、中における園児、児童、生徒と保護者への啓発を関係各課、園、学校と連携し実施していくことが大切である。									
	O302 小学校は、体力テスト項目「学校外での運動に参加しているか」を指標としているが、令和2年度は体力テストを実施しなかったため実績はない。中学校では運動部及び校外活動の参加者を指標としているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、校外活動参加者が減少したため目標値を下回った。家庭で過ごす時間についても、積極的に運動を取り入れるよう指導し、運動習慣づくりを推進していく。									
	O303 令和2年度は、新体力テストを実施しなかった。コロナ禍により運動機会が減少していることから、発達段階に応じた健康教育を推進し、運動能力の維持・向上を図る。									

O4 地域社会との連携推進									
手段（4桁コード）内容		管理指標		H28	H29	H30	R 1	R2	担当課
O401 地域活動への積極的な参加	地域の行事や活動に積極的に参加している子どもの割合	小学校	目標値	79%	80%	81%	82%	83%	教育指導課
			実績値	78.7%	78.4%	77.2%	77.5%	66.7%	
		中学校	目標値	56%	58%	60%	62%	64%	//
			実績値	62.2%	57.3%	56.4%	59.4%	50.3%	
O402 学校教育に関する情報の地域への提供	地域の広報誌や掲示板、公共施設等で情報提供をしている学校の割合	目標値	54%	60%	67%	73%	80%	//	
		実績値	60.0%	73.3%	93.3%	80.0%	78.6%		
今年度の改善ポイントや重点方向等	O401 新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、外出制限や地域の行事が軒並み中止される一方、学校においては「地域とともにある学校づくり」を進めており、今後も各校区において情報交換を図る中で、地域の人・モノ・行事等の地域資源を活用し、地域との連携を進める。								
	O402 新型コロナウイルス感染症の感染防止を目的とした休校により、目標を達成できなかったが、引き続き地域に開かれた学校を目指し情報提供に努めていきたい。								

O5 教育的支援体制の充実									
手段（4桁コード）内容		管理指標		H28	H29	H30	R 1	R2	担当課
O501 教育的支援の充実	教育的支援が必要な子ども数に対する支援員の割合	目標値	6.5%	7%	7.5%	8%	8.5%	教育指導課	
		実績値	7.2%	7.2%	9.7%	10.6%	10.3%		
O502 不登校対応の体制づくり	不登校出現率	目標値	1.88%	1.87%	1.85%	1.84%	1.82%	//	
		実績値	2.71%	2.47%	2.86%	3.11%	3.14%		
O503 就学支援の充実	市就学支援委員会の判定に基づき、適正に就学した子どもの割合	目標値	72%	74%	76%	78%	80%	//	
		実績値	62.0%	62.7%	59.9%	58.0%	68.9%		
今年度の改善ポイントや重点方向等	O501 教育的支援が必要な子どもの増加に対応するため、各学校に適切な支援員を配置した。引き続き、支援員の資質向上を図るため研修を積極的に行い、支援力の向上に努めたい。								
	O502 依然として目標値を上回る不登校の出現率である。不登校となる原因をしっかりと把握する中で子どもと保護者のケアに努めるとともに、適応指導教室を活用し学校復帰を進めていく。また、専門家による相談の機会を増やすことで、子どもや保護者の不安を和らげ、学校生活の安定を図ることで不登校の未然防止に努めていく。								
	O503 校内での就学支援を重ねることで園児、児童生徒の状況の的確な把握に努めることができた。引き続き適正な就学に導くため、園や学校、関係機関との共通理解のもと、保護者への丁寧な説明と情報提供を心がけていく。								

4 市民の皆さんと一緒に進めていく方策

方策	《令和2年度末時点の活動状況》	《令和3年度の改善ポイントや重点方向等》
O1 学校行事への積極的な参加	<ul style="list-style-type: none"> 年度当初において、保護者に学校行事やPTA活動の年間計画をお知らせしたものの、新型コロナウイルス感染症の影響で、学校行事へ地域の方を招待したり、学校だよりを配布する機会が減少し、地域に開かれた学校運営を行うことが困難であった。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、年間計画を広くお知らせしていくが、新しい生活様式の実践も考慮した上で、多くの方が参加しやすい環境づくりを行っていきたい。

第四次総合計画

第十次基本計画・実施計画（目的指向体系表）

政策目標	3	心豊かな人を育み、生涯にわたって学習できるまち
施策分野	4	生涯学習活動の推進
基本計画		市民が生涯を通じていつでもどこでも快適に学習できるまちを目指します。

担当当課	生涯学習課
関係課	—
作成年月日	R3.4.1

1 基本計画の達成状況

基本計画（目標）	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
市民が生涯を通じていつでもどこでも快適に学習できるまちを目指します。	市民1人当たりの生涯学習活動の参加回数	目標値	2.41回	2.59回	2.77回	2.94回	3.12回	生涯学習課
		実績値	2.44回	2.40回	3.24回	3.13回	2.23回	
	市民1人当たり図書貸出し冊数	目標値	3.67冊	4.23冊	4.79冊	5.34冊	5.90冊	//
		実績値	3.06冊	2.96冊	2.96冊	2.81冊	2.45冊	
指標の達成度 《今年度実績評価》	<p>市民1人当たりの生涯学習活動の参加回数は、新型コロナウイルス感染症予防対策による活動自粛等のため減少した。今後は感染症対策に留意した各種教室の活動に努め生涯学習活動の推進に努めていく。</p> <p>市民1人当たり図書貸出し冊数は、新型コロナウイルス感染症による臨時休館等の影響もあり減少した。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、本等の魅力を伝えられる「イベント・企画展など」の実施ができなかったが、この状況下においても実施できるよう工夫しながら1人でも利用者が増加する事業を行う。</p>							

2 目標を達成するための具体的な方策の進捗状況

目標を達成するための具体的な方策	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O1 生涯学習機会の提供	中央会館・ひぐらし会館に登録している団体の数	目標値	810団体	840団体	870団体	900団体	930団体	生涯学習課
		実績値	767団体	860団体	861団体	1,109団体	1,156団体	
O2 市民の自主的生涯学習活動の推進	市民1人当たりの生涯学習活動の参加回数	目標値	2.41回	2.59回	2.77回	2.94回	3.12回	//
		実績値	2.44回	2.40回	3.24回	3.13回	2.23回	
O3 図書館機能の充実	年間図書受入数	目標値	5,610冊	6,370冊	7,130冊	7,890冊	8,600冊	//
		実績値	5,069冊	5,117冊	6,228冊	5,932冊	5,440冊	
指標の達成度 《今年度実績評価》	<p>O1 中央会館・ひぐらし会館を利用するための登録については、サークル活動を促すための積極的な周知を行ったことにより、令和元年度より増加し、目標を達成する形となった。今後も、広報等により周知を行うとともに、成人教育に係る各種講座終了後の自主的サークルの発足を促していく。</p> <p>O2 市民1人当たりの生涯学習活動の参加回数は、新型コロナウイルス感染症予防対策による活動自粛等により減少した。今後は感染症対策に留意し、各種教室の普及に努め生涯学習活動の推進に努めていく。</p> <p>O3 新図書館建設に向け、所蔵の必要可否を的確に判断し収蔵場所の状況などを鑑みながら進めていく必要があるため、受入数は減少した。今後も受入資料の「情報や状態」等重要な判断要素を考慮しながら受入数の増加に努めていく。</p>							

3 具体的な方策を構成する手段の進捗状況

O1 生涯学習機会の提供									
手段（4桁コード）	内容	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O101	学習施設貸出備品の整備	生涯学習センター貸出備品数	目標値	16個	17個	18個	19個	20個	生涯学習課
			実績値	16個	16個	16個	16個	16個	
O102	学習情報の収集・発信	学びのとびらによる活動状況を掲載する団体数	目標値	220団体	220団体	235団体	235団体	250団体	//
			実績値	190団体	229団体	244団体	288団体	296団体	
O103	生涯学習指導者登録数	市ホームページに公開している生涯学習指導者の登録数	目標値	60人	70人	80人	90人	100人	//
			実績値	84人	67人	72人	63人	65人	
O104	生涯学習団体の情報提供	広報いとう等で生涯学習団体の市民に情報提供した件数	目標値	22件	22件	22件	22件	22件	//
			実績値	12件	17件	29件	17件	8件	
今年度の改善ポイントや重点方向等	O101 利用者のニーズを把握することができなかったことから、目標達成に至らなかった。今後は限られた予算内で必要物品を整備し、利用者の利便性向上に努める。								
	O102 令和元年度に続き、令和2年度も目標を達成する形となった。今後も学習情報の収集・発信に係る一層の充実を図るため、各施設の利用者に対して「まなびのとびら」への掲載を依頼していく。								
	O103 指導者への登録に関する周知が不足していたことから、目標達成に至らなかった。今後は広報いとうやホームページ等により広く周知を図ることで、指導者登録数を増やしていく。								
	O104 令和2年度は目標を達成できなかったが、生涯学習団体の周知を図るため、引き続き、広報いとう等による情報提供に努める。								

O2 市民の自主的生涯学習活動の推進									
手段（4桁コード）内容		管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O201	市民向け学習講座・教室の開催	市民大学・いでゆ大学延べ参加者数	目標値	1,500人	1,550人	1,600人	1,650人	1,700人	生涯学習課
			実績値	1,539人	1,713人	1,614人	1,506人	139人	
O202	生涯学習団体への支援	生涯学習活動を積極的に行う団体数	目標値	240団体	243団体	246団体	248団体	250団体	〃
			実績値	208団体	176団体	185団体	149団体	181団体	
O203	学習成果を活かした地域における学習交流の推進	3地域生涯学習センターと4コミュニティセンターでの自主的サークルの使用回数	目標値	6,600回	6,700回	6,800回	6,900回	7,000回	〃
			実績値	6,301回	6,210回	8,284回	12,345回	8,925回	
O204	家庭教育に関する学習機会と内容の充実	明るい家庭づくり・豊かなまちづくりを目的に幼稚園・小学校で実施されている家庭教育学級の実施校数	目標値	8校	10校	12校	14校	17校	〃
			実績値	22校	11校	6校	11校	2校	
今年度の改善ポイントや重点方向等	O201 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により講座を中止、縮小して実施したため、目標値を大きく下回ってしまったが、今後は新しい生活様式に即した対策を取りながら、各種講座の充実を努め、多くの方が受講したいと思うような講座の組立等、工夫を図る。								
	O202 市民大学及びいでゆ大学卒業生を中心に新たにサークル等が結成できるよう支援するとともに、令和2年度新たに発行の「まなびのとびら」（隔年発行）を活用し、各種サークル活動を周知することで、継続してサークル活動を実施できるよう支援していく。								
	O203 市内生涯学習センター及びコミュニティセンターを多くの方が利用されている状況であり、目標を上回った。今後もホームページや広報いとうなどにより積極的に情報提供を図り、地域における学習交流の推進に努める。								
	O204 学校や保護者へ家庭教育学級のあり方についての周知が不足し目標値を上回ることができなかったが、今後は家庭教育学級についての方向性を見直し、学校と連携を図るとともに、家庭教育支援アドバイザー（サボ茶）の活動と連携するなど、保護者への家庭教育を学習する場の充実を図る。								

O3 図書館機能の充実									
手段（4桁コード）内容		管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O301	図書資料の充実	図書資料の年間購入数	目標値	5,110冊	5,870冊	6,630冊	7,390冊	8,100冊	生涯学習課
			実績値	4,253冊	4,560冊	4,333冊	5,320冊	5,202冊	
O302	図書貸出冊数	図書貸出冊数	目標値	260,860冊	300,370冊	339,880冊	379,390冊	418,900冊	〃
			実績値	215,347冊	205,879冊	206,658冊	191,637冊	166,073冊	
O303	移動図書館車の巡回	移動図書館車の貸出冊数	目標値	36,240冊	42,880冊	49,520冊	56,160冊	62,800冊	〃
			実績値	25,465冊	22,068冊	25,458冊	23,924冊	19,536冊	
O304	貸出利用人数の増加	貸出延人数	目標値	67,880人	72,160人	76,440人	80,720人	85,000人	〃
			実績値	58,645人	60,961人	61,468人	56,772人	46,427人	
今年度の改善ポイントや重点方向等	O301 図書購入予算や収蔵スペースに限りがあることから購入数を延ばせないが、新図書館建設に向け、利用者のニーズ、社会情勢やトレンドなどを積極的にリサーチするなどして「価値のある資料」を購入し図書資料の充実につなげていく。								
	O302 今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止による休館期間があり、利用者数の減少とともに貸出冊数が減少したと考えている。新型コロナウイルス感染症、オリンピックなど世界情勢は激しく動いており、世間のトレンドなどを積極的にリサーチし、話題の本や時事問題を扱う本など魅力ある選書を行い、「新鮮な本」を多く揃えて、貸出冊数の増加につなげていく。								
	O303 今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が減少したことによる貸出冊数が減少したと考えている。巡回できる場所や回数は限られており、今後も世間のトレンドなどを積極的にリサーチし、「読みたい」と思える本の選書を行うとともに、図書館に来館しなくても借受・返却ができる点などをPRしていく。								
	O304 今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により貸出人数が減少したと考えている。貸出冊数とリンクしており、貸出冊数と同様、世間のトレンドなどを積極的にリサーチし、話題の本や時事問題を扱う本など魅力ある選書を行い、「新鮮な本」を多く揃えて、貸出人数の増加につなげていく。また、図書館に関心を持ってもらうことが利用人数の増加につながると考えられるが、新型コロナウイルス感染症対策をしっかりと取りながら子ども向けだけでなく様々な世代に対する講座・イベントなどを実施していく。また、これまで情報提供を行っていなかった機関（市役所や事業者など）に対して積極的に情報提供を行っていく。								

4 市民の皆さんと一緒に進めていく方策		
方策	《令和2年度末時点の活動状況》	《令和3年度の改善ポイントや重点方向等》
O1 自主的な生涯学習活動の広がり	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、各種講座を中止・縮小して実施したため、生涯学習活動を通じた積極的な活動を広げることは難しい結果となったが、そのような状況下においても、新しいスタイルでの生涯学習を提供するため、実施方法等について検討を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民が興味をいだくような講座や教室になるよう、魅力あるカリキュラムの構築に努めるほか、新型コロナウイルス感染症と共存する中で、生涯学習活動への参加機会が増えるような取組を進める。 市民の生涯学習活動への参加を促すとともに、成人教育に係る各種講座終了後の自主的サークルの発足等を促してまいりたい。

第四次総合計画 第十次基本計画・実施計画（目的指向体系表）

政策目標	3	心豊かな人を育み、生涯にわたって学習できるまち
施策分野	5	市民スポーツ活動の支援
基本計画		市民が気軽に快適にスポーツができるまちを目指します。

担当当課	生涯学習課
関係課	—
作成年月日	R3.4.1

1 基本計画の達成状況

基本計画（目標）	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
市民が気軽に快適にスポーツができるまちを目指します。	スポーツ施設の年間利用者数	目標値	31.5万人	31.7万人	32.1万人	32.4万人	33万人	生涯学習課
		実績値	28.6万人	34.1万人	32.0万人	29.8万人	20.2万人	
指標の達成度 《令和2年度実績評価》	平成28年度に市民体育センターの耐震補強工事が完了したことに加え、大原武道場（トレーニング室）利用者の恒常的な増加が顕著であり、社会体育施設の利用者数は高めの水準で推移している。一方で学校施設の利用者は減少傾向にある。令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の状況に応じて施設の使用禁止や使用自粛要請の措置を講じたことから、目標値及び令和元年度実績値を大きく下回った。							

2 目標を達成するための具体的な方策の進捗状況

目標を達成するための具体的な方策	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O1 スポーツ指導者の養成	指導者数	目標値	80人	85人	90人	95人	100人	生涯学習課
		実績値	72人	66人	59人	48人	44人	
O2 スポーツ大会や教室の実施	参加人数	目標値	10,200人	10,400人	10,600人	10,800人	11,000人	〃
		実績値	11,108人	9,278人	10,385人	10,300人	1,830人	
O3 スポーツ環境の整備	既存施設大規模改修及び新設体育施設整備に向けた取組み等の回数	目標値	5回	5回	5回	5回	5回	〃
		実績値	3回	1回	2回	2回	0回	
指標の達成度 《令和2年度実績評価》	O1	各種大会への参加要件からスポーツ少年団への登録が抹消された競技もあり、スポーツ少年団登録への必要性が低くなっている。そのため、登録団体数の減少が顕著となっており、公的に把握できる指導者数が減少している。引き続き啓発活動を実施していく。						
	O2	新型コロナウイルス感染症の影響により、各種スポーツ大会の中止や規模の縮小が相次ぎ、目標値及び令和元年度実績値を大きく下回った。今後は引き続きの啓発活動及び新しい生活様式に即した事業実施について検討していく必要がある。						
	O3	令和2年度事業実施を予定していた伊東市民運動場人工芝生化学業に関し、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、市民の安全と健康を守る施策に重点を置き、事業実施を延期とした。						

3 具体的な方策を構成する手段の進捗状況

O1 スポーツ指導者の養成		手段（4桁コード）内容	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O101	スポーツ推進委員の養成	スポーツ推進委員数	目標値	14人	15人	16人	17人	18人	生涯学習課	
			実績値	12人	15人	12人	12人	11人		
O102	スポーツ少年団指導者の養成	スポーツ少年団指導者数	目標値	70人	75人	80人	85人	90人	〃	
			実績値	60人	51人	47人	36人	33人		
O103	スポーツ指導者研修会への参加促進	研修会参加者延べ人数	目標値	30人	30人	30人	30人	30人	〃	
			実績値	16人	19人	26人	14人	0人		
令和2年度の改善ポイントや重点方向等	O101	新規委員の開拓に苦慮しており、令和元年度実績値及び目標値を下回った。引き続き広報活動の積極的な実施や行政職員の登用等を検討する。								
	O102	スポーツ少年団の登録が大会出場要件から抹消される競技がある等、少年団登録の必要性が希薄になってきているため、目標値及び令和元年度実績値を大きく下回った。引き続き目標達成に向けた啓発活動を実施する。								
	O103	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、予定されていた研修会が中止となる等、目標値及び令和元年度実績値を大きく下回った。今後は新しい生活様式に即した研修会の実施等についても検討し、スポーツ推進委員の資質及び意識の向上に積極的に取り組むと同時に、積極的な情報提供、各種研修会への参加を促す。								

02 スポーツ大会や教室の実施									
手段（4桁コード）内容	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課	
			0201 按針祭協賛スポーツ祭	参加者数	目標値	2,900人	3,700人		3,800人
	実績値	4,468人	3,566人		3,834人	3,787人	0人		
0202 伊東市スポーツ祭	参加者数	目標値	2,000人	2,700人	2,800人	2,900人	3,000人	〃	
		実績値	3,185人	3,091人	3,393人	3,226人	953人		
0203 陸上カーニバル	申込者数	目標値	710人	720人	730人	740人	750人	〃	
		実績値	702人	588人	501人	487人	0人		
0204 オレンジビーチマラソン	申込者数	目標値	2,500人	2,500人	2,500人	2,500人	2,500人	〃	
		実績値	2,400人	2,223人	2,240人	2,427人	799人		
0205 伊東駅伝	申込者数	目標値	400人	400人	400人	400人	400人	〃	
		実績値	366人	414人	356人	400人	0人		
0206 スポーツ教室の推進	実施回数	目標値	22回	22回	23回	24回	25回	〃	
		実績値	12回	20回	24回	24回	12回		

令和2年度の改善ポイントや重点方向等	0201	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で事業を中止とした。令和3年度の再開に向け、体育協会加盟の各団体と連携し、新しい生活様式に即した事業実施を検討していく。
	0202	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で事業を中止若しくは縮小とする競技が多く、令和元年度実績値及び目標値を大きく下回った。体育協会加盟の各団体と連携し、新しい生活様式に即した事業実施を検討していく。
	0203	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で事業を中止とした。実施主体の体育協会と連携し、新しい生活様式に即した事業実施について検討すると同時に、参加者数の増加に向け、啓発活動を実施する。
	0204	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、参加者を市内在住者に限定すると同時に参加上限を1,000人とし、密を避けた運営により実施する予定であったが、市域での感染拡大傾向を受け、令和2年12月に大会中止を決定した。市内外から需要のある大会であり、今後も新しい生活様式に即した事業実施について検討していく。
	0205	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で事業を中止とした。委託業者である体育協会と連携し、新しい生活様式に即した事業実施について検討すると同時に、各学校や一般の市民ランナーに対するPR方法について検討していく。
	0206	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、前期事業を中止とした。今後も各種教室の開催について、市民の潜在需要を勘案しながら種目を検討、実施する。

03 スポーツ環境の整備									
手段（4桁コード）内容	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課	
			0301 地域スポーツクラブの育成	クラブ数	目標値	3クラブ	3クラブ		3クラブ
実績値	2クラブ	2クラブ			2クラブ	2クラブ	2クラブ		
0302 総合体育館の建設に向けた調査・研究	総合体育館の建設に向けた調査・研究回数等	目標値	2回	2回	2回	2回	2回	〃	
		実績値	1回	0回	0回	0回	0回		
令和2年度の改善ポイントや重点方向等	0301	既存クラブの育成支援及び新規クラブの発足に向けて各種情報収集・提供に努める。							
	0302	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、視察が出来なかった。総合体育館については、引き続き調査・研究を進める。							

4 市民の皆さんと一緒に進めていく方策

方策	《令和2年度末時点の活動状況》	《令和3年度の改善ポイントや重点方向等》
01 スポーツ活動への参加	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員による健康教室及び伊東市振興公社によるスポーツ教室の開催 ・各大会運営への地域体育振興会、市民、高校生等のボランティアの参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止を大前提とした各大会の実施判断 ・実施する大会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の徹底

第四次総合計画 第十次基本計画・実施計画（目的指向体系表）

政策目標	3	心豊かな人を育み、生涯にわたって学習できるまち
施策分野	6	歴史、芸術文化の振興
基本計画		市民が歴史、芸術文化に触れ、関わることができるまちを目指します。

担当課	生涯学習課
関係課	—
作成年月日	R3.4.1

1 基本計画の達成状況

基本計画（目標）	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
市民が歴史、芸術文化に触れ、関わることができるまちを目指します。	歴史文化に触れた人数	目標値	12,300人	13,000人	13,600人	14,000人	15,000人	生涯学習課
		実績値	8,994人	8,704人	8,477人	8,875人	3,376人	
	芸術文化に触れた人数	目標値	1,880人	1,960人	2,030人	2,100人	2,180人	〃
		実績値	11,600人	12,100人	12,600人	13,000人	13,500人	
指標の達成度 《今年度実績評価》	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により施設を休館した時期があることや、講演会等を中止したことにより、歴史文化に触れた人数は、目標値及び令和元年度実績値を大きく下回った。 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により芸術祭の展示・上演部門を中止したことにより、芸術文化に触れた人数については、目標値及び令和元年度実績値を大きく下回った。 							

2 目標を達成するための具体的な方策の進捗状況

目標を達成するための具体的な方策	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O1 歴史、芸術文化に触れる機会の創出	市内文化施設及び市芸術祭の入場者等	目標値	11,500人	12,000人	13,000人	14,000人	15,000人	生涯学習課
		実績値	19,359人	17,883人	17,840人	15,570人	3,146人	
	文化イベントの誘致件数	目標値	2件	2件	2件	2件	2件	〃
		実績値	5件	5件	4件	3件	3件	
O2 歴史文化情報の発信	講演会等の参加人数	目標値	400人	400人	400人	400人	400人	〃
		実績値	783人	759人	696人	1,161人	230人	
	文化財保護啓発イベントの実施件数	目標値	4件	4件	4件	4件	4件	〃
		実績値	1件	1件	1件	1件	3件	
インターネットによる文化情報のアクセス数	目標値	5,000回	5,000回	5,000回	5,000回	5,000回	〃	
	実績値	8,313回	9,263回	9,068回	6,313回	6,351回		
O3 芸術文化活動の支援	伊豆美術祭・後継者育成・文化イベントへの支援件数	目標値	70件	70件	70件	70件	70件	〃
		実績値	73件	56件	72件	76件	28件	
指標の達成度 《今年度実績評価》	O1	歴史、芸術文化に触れる機会の創出については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により施設を休館した時期があることに加え、芸術祭の展示・上演部門を中止したことにより、目標値及び令和元年度実績値を大きく下回った。						
	O2	歴史文化情報の発信については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により各種講座を中止・縮小したため、目標値及び令和元年度実績値を大きく下回った。						
	O3	芸術文化活動の支援については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により文化イベントを開催する民間活動の中止が相次いだため、目標値及び令和元年度実績値を大きく下回った。						

3 具体的な方策を構成する手段の進捗状況

O1 歴史、芸術文化に触れる機会の創出		手段（4桁コード）内容	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O101	市内文化施設の入館者数	木下奎太郎記念館、文化財管理センター入館者数	目標値	9,000人	9,300人	9,600人	9,800人	10,000人	生涯学習課	
			実績値	8,221人	7,945人	7,781人	7,714人	3,146人		
O102	市芸術祭の開催	出品者数、参加者数、観客数	目標値	13,000人	13,300人	13,600人	13,800人	14,000人	〃	
			実績値	12,719人	11,488人	11,825人	8,992人	127人		
O103	演奏会、展示会等の文化イベントの誘致	誘致件数	目標値	4件	4件	4件	4件	4件	〃	
			実績値	5件	5件	4件	3件	3件		
O104	芸術文化に触れる事業の開催	観光会館文化事業入場者数	目標値	2,800人	2,850人	2,900人	2,950人	3,000人	〃	
			実績値	2,318人	2,058人	1,781人	1,285人	800人		
O105	文化財等に関する講座・教室の開催	参加者数	目標値	80人	85人	90人	95人	100人	〃	
			実績値	533人	624人	530人	951人	230人		
今年度の改善ポイントや重点方向等	O101	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により木下奎太郎記念館及び文化財管理センターを休館した時期があるため、入館者数は目標値及び令和元年度実績値を大きく下回った。引き続き特別展や体験教室の開催など魅力向上に努める。								
	O102	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により芸術祭は文学部門のみ実施し、展示・上演部門を中止した。このため、目標値及び令和元年度実績値を大きく下回った。文化協会と連携し、新しい生活様式に即した事業実施について検討すると同時に、出品・参加意欲向上に努める。								
	O103	文化イベントの誘致については、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により新規事業を企画できなかった。今後も質の高い魅力あるものを提供するよう努める。								
	O104	質の高い観光会館文化事業を開催することができたものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により観光会館の収容定員に上限を設けて開催したことに加え、コロナ禍で来場意欲が高まらなかったと考えられることから、目標値及び令和元年度実績値を大きく下回った。委託先である振興公社と連携し、新しい生活様式に即した事業実施について検討すると同時に、より多くの市民に対して事業周知に努める。								
	O105	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により講演会等を中止したため、令和元年度実績値を大きく下回ったが、小学生に対する出前授業等を実施できたため、目標値を上回ることができた。今後も興味深い講座・教室の実施に努める。								

O2 歴史文化情報の発信									
手段（4桁コード）内容		管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O201	伊東市史に関する講座・講演会の開催	講座、講演会参加者数	目標値	220人	225人	230人	235人	240人	生涯学習課
			実績値	250人	135人	166人	210人	0人	
O202	文化財保護啓発イベントの実施	イベント件数	目標値	4件	4件	4件	4件	4件	〃
			実績値	1件	1件	1件	1件	3件	
O203	インターネットによる文化情報の発信	アクセス数	目標値	5,000回	6,000回	7,000回	8,000回	9,000回	〃
			実績値	8,313回	9,263回	9,068回	6,313回	6,351回	
今年度の改善ポイントや重点方向等		O201 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により講演会等を実施できなかった。							
		O202 令和2年度に文化財防火デー以外のイベントを2つ企画・実施したが、目標を達成することができなかった。							
		O203 令和元年度実績値をやや上回ったものの、目標値を大きく下回った。ホームページの更新を積極的に行うとともに、SNSの普及により情報の受け取り方が多様化していることから、発信方法の調査・研究を行う。							

O3 芸術文化活動の支援									
手段（4桁コード）内容		管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O301	文化協会に対する支援	加盟団体数	目標値	100団体	105団体	110団体	115団体	120団体	生涯学習課
			実績値	90団体	88団体	84団体	78団体	73団体	
O302	他市町村との交流	民間レベルでの交流回数	目標値	2回	2回	2回	2回	2回	〃
			実績値	8回	7回	7回	5回	2回	
O303	文化育成への支援	伝統文化子ども育成支援数	目標値	6団体	7団体	8団体	9団体	10団体	〃
			実績値	5団体	3団体	5団体	5団体	3団体	
O304	文化イベント等への支援	後援件数	目標値	55件	60件	65件	70件	80件	〃
			実績値	68件	52件	66件	70件	24件	
今年度の改善ポイントや重点方向等		O301 文化協会加盟団体は高齢化等により会員数が減少しており、活動されなくなった団体が見受けられ、目標値及び令和元年度実績値を下回った。今後も従来の団体数は減少していくと思われるが、活動しやすい環境整備に努めていく。							
		O302 令和元年度実績値を下回ったものの、コロナ禍にも関わらず目標値を達成した。今後も民間団体による他市町村との交流が活発化するよう努める。							
		O303 補助申請団体数の減少に加え、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により活動ができなかった団体があったため、目標値及び令和元年度実績値を下回った。地域の文化の担い手である活動団体の発展のため、後継者育成や団体間交流について積極的に支援を行えるよう、情報収集に努める。							
		O304 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により民間活動の中止が相次いだため、目標値及び令和元年度実績値を大きく下回った。今後も文化イベント等が活発に開催されるよう、活動団体への周知を行うとともに、情報収集に努める。							

4 市民の皆さんと一緒に進めていく方策		
方策	《令和2年度末時点の活動状況》	《令和3年度の改善ポイントや重点方向等》
O1 文化や文化財を愛護する市民や市民団体との連携	<ul style="list-style-type: none"> 子どもを中心とした伝統文化育成事業への補助制度。 市民が企画する文化イベントへの後援や協力。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止を大前提とした各イベントの実施判断をする。 実施するイベントについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底する。 市民の文化力向上のため、市民発案の文化イベントへの協力を積極的に進める。 市民に伊東の歴史文化を学ぶ機会を積極的に提供し、新たな活動に繋げるように努める。

第四次総合計画 第十次基本計画・実施計画（目的指向体系表）

政策目標	3	心豊かな人を育み、生涯にわたって学習できるまち
施策分野	7	国際交流の推進
基本計画		身近な所で異文化交流が楽しめるまちを目指します。

主担当課	秘書課
関係課	—
作成年月日	R3.4.1

1 基本計画の達成状況

基本計画（目標）	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
身近な所で異文化交流が楽しめるまちを目指します。	国際交流に関する体験や行事に参加した市民の割合	目標値	13.6%	14.1%	14.6%	15.4%	16.4%	秘書課
		実績値	8.2%	9.3%	7.9%	10.6%	12.7%	
指標の達成度 《今年度実績評価》	・実績値は増加したものの目標値には達成していない。外国語講座や日本語教室参加者へのイベント等の周知を図るとともに、CATVやラジオなどの様々な媒体による広報活動を行い、国際交流に関する意識の向上を図っていく。							

2 目標を達成するための具体的な方策の進捗状況

目標を達成するための具体的な方策	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O1 国際交流事業の推進	国際交流イベント参加者数	目標値	1,600人	1,700人	1,700人	1,800人	1,800人	秘書課
		実績値	1,900人	1,200人	1,200人	1,200人	0人	
O2 外国人住民の日常生活環境の支援	日本語教室受講者数	目標値	700人	700人	700人	700人	700人	〃
		実績値	480人	550人	1,137人	958人	578人	
O3 国際理解の啓発	国際交流関係講座数	目標値	7講座	7講座	7講座	7講座	7講座	〃
		実績値	10講座	11講座	8講座	7講座	6講座	
指標の達成度 《今年度実績評価》	O1 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベントを中止とした。							
	O2 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4～5月、11月末～12月の教室を休講としたため、受講者数が減少した。							
	O3 例年外国語講座と異文化理解講座を開催しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、異文化理解講座を中止とした。							

3 具体的な方策を構成する手段の進捗状況

O1 国際交流事業の推進								
手段（4桁コード）内容	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O101 友好都市（付'リス・ド'ウエイ市、イタリア・リエティ市）及び友好交流都市（アルバ・ディ・バジリカ共和国・バチカノ）等	交流回数	目標値	10回	10回	10回	10回	10回	秘書課
		実績値	7回	8回	8回	6回	0回	
O102 国際交流協会の活動の促進	国際交流協会会員数	目標値	450人、39団体	460人、39団体	470人、39団体	480人、39団体	490人、39団体	〃
		実績値	339人、37団体	321人、36団体	330人、34団体	349人、31団体	304人、30団体	
O103 国際交流フェスタの開催	入場者数	目標値	1,400人	1,500人	1,500人	1,600人	1,600人	〃
		実績値	800人	900人	900人	900人	0人	
今年度の改善ポイントや重点方向等	O101 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学生交換プログラムをすべて中止とした。							
	O102 会員数の減少や会員の高齢化が進んでいるため、各種イベントや教室の開催を通じて新規会員の取得に努める。							
	O103 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。							

O2 外国人住民の日常生活環境の支援								
手段（4桁コード）内容	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O201 外国人市民相談の充実	相談件数	目標値	10件	10件	10件	10件	10件	秘書課
		実績値	25件	25件	40件	40件	25件	
O202 日本語教室の周知と充実	受講者延べ人数	目標値	700人	700人	700人	700人	700人	〃
		実績値	480人	550人	1,137人	958人	578人	
O203 CATVによる外国人市民向け情報の英語放送	放送回数	目標値	毎日5回	毎日5回	毎日5回	毎日5回	毎日5回	〃
		実績値	毎日5回	毎日5回	毎日5回	毎日5回	毎日5回	
O204 伊東市ホームページの外国語翻訳	翻訳言語数	目標値	4言語	4言語	4言語	4言語	4言語	〃
		実績値	4言語	4言語	4言語	4言語	4言語	
今年度の改善ポイントや重点方向等	O201 多種多様な相談が増えているため、最新の情報を提供できるよう今後も情報収集に努める。							
	O202 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月～6月、11月末～12月を休講としたため、延べ受講者数が減少している。							
	O203 目標値を達成しており、今後も継続して実施していく予定である。							
	O204 目標値を達成しており、今後も継続して実施していく予定である。							

O3 国際理解の啓発									
手段（4桁コード）内容		管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O301	外国語教室の開催	開設講座数	目標値	5講座	5講座	5講座	5講座	5講座	秘書課
			実績値	8講座	9講座	6講座	6講座	6講座	
O302	学校へ国際友好都市紹介講座の派遣	派遣回数	目標値	5回	5回	5回	5回	5回	//
			実績値	2回	1回	4回	3回	0回	
O303	異文化理解講座の開催	開催講座数	目標値	2講座	2講座	2講座	2講座	2講座	//
			実績値	2講座	2講座	2講座	1講座	0講座	
今年度の改善ポイントや重点方向等	O301 令和元年度と講座数は変わっていないが、市民の需要に合わせ英語教室の内容を充実させたり、受講者数が少ない講座は見直しを実施している。								
	O302 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。								
	O303 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。								

4 市民の皆さんと一緒に進めていく方策		
方策	《令和2年度末時点の活動状況》	《令和3年度の改善ポイントや重点方向等》
O1 市民参加による国際交流イベントの実施	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、学生交換プログラムや国際交流フェスタなどの事業を中止せざるを得ない状況となった。 	<ul style="list-style-type: none"> 近年日本語教室や外国語教室等の需要が増えていることから、教室を利用する生徒にイベントの周知や会員の勧誘を行い、幅広い世代で参加できる国際交流イベントの内容を研究していく。

第四次総合計画 第十次基本計画・実施計画（目的指向体系表）

政策目標	3	心豊かな人を育み、生涯にわたって学習できるまち
施策分野	8	青少年の健全な育成
基本計画		豊かな人間性、社会性を身につけた青少年が健やかに育つまちを目指します。

担当当課	生涯学習課
関係課	—
作成年月日	R3.4.1

1 基本計画の達成状況

基本計画（目標）	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
豊かな人間性、社会性を身につけた青少年が健やかに育つまちを目指します。	あいさつ運動賛同者数	目標値	17,400人	18,300人	19,200人	20,100人	21,000人	生涯学習課
		実績値	17,008人	17,143人	17,394人	17,494人	17,536人	
指標の達成度 《今年度実績評価》	市内小・中学校、各行政区からは、あいさつ運動の賛同をいただいたものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響からあいさつ運動参加賛同数が、一部の企業等に限られたことから、目標達成に至らなかった。							

2 目標を達成するための具体的な方策の進捗状況

目標を達成するための具体的な方策	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O1 声かけ・あいさつ運動の推進	あいさつ運動賛同者数	目標値	17,400人	18,300人	19,200人	20,100人	21,000人	生涯学習課
		実績値	17,008人	17,143人	17,394人	17,494人	17,536人	
O2 非行防止体制の強化	青少年補導の参加率	目標値	65%	68%	72%	76%	80%	〃
		実績値	67%	50%	56%	60%	82%	
O3 地区青少年健全育成活動の活性化	青少年育成市民会議・青少年問題協議会・青少年補導センターの会議回数	目標値	7回	7回	8回	8回	8回	〃
		実績値	6回	6回	6回	6回	6回	
O4 次世代を担うリーダーの育成	夢チャレンジクラブの参加延べ人数	目標値	20人	30人	40人	50人	50人	〃
		実績値	18人	19人	76人	130人	118人	

指標の達成度 《今年度実績評価》	O1	市内小・中学校、各行政区からは、あいさつ運動の賛同をいただいたものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響からあいさつ運動参加賛同数が、一部の企業等に限られたことから、目標達成に至らなかった。
	O2	近年、青少年の非行等が減ってきているほか、子どもの数が減少していること、街頭補導時に青少年を見かけることも少なくなってきたことから、補導員及び補導回数の削減を行ったほか、新型コロナウイルス感染症の影響により街頭補導については夏季一斉補導のみとなったため、参加率増加となった。
	O3	新型コロナウイルス感染症の影響により中止した会議もあり、目標達成には至らなかったが、会議の活性化を図るため、必要最小限の会議開催にとどめ、有意義な会議を開催するよう努めたことで、各地区の青少年健全育成に係る機運を醸成することができた。
	O4	教室プログラムを改善し、市内中・高生が参加したいと思えるような教室の実施により、魅力の向上に努めたほか、小学生時に体験したふるさと教室の経験から、後継を育てようという本市の次世代を担うリーダーとしての自覚の芽生えや、機運の醸成に繋がった。この結果、目標値を大幅に超えたため、これら取組みを継続していく。

3 具体的な方策を構成する手段の進捗状況

O1 声かけ・あいさつ運動の推進									
手段（4桁コード）	内容	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O101	地域におけるあいさつ運動の推進	自治会等の地域団体の賛同数	目標値	120団体	140団体	160団体	180団体	200団体	生涯学習課
			実績値	128団体	129団体	129団体	129団体	129団体	
O102	小・中学校におけるあいさつ運動推進	小・中学校でのあいさつ運動の実施回数	目標値	360回	360回	360回	360回	360回	〃
			実績値	182回	182回	182回	182回	182回	
O103	あいさつ運動の広報	あいさつ瓦版・広報掲載回数	目標値	8回	8回	8回	8回	8回	〃
			実績値	5回	5回	5回	5回	2回	

今年度の改善ポイントや重点方向等	O101	自治会等への周知が不足したことや、個別の賛同依頼等ができなかったことから、目標値を達成できなかった。今後は、一層の周知に努め、賛同団体の確保に努める。
	O102	あいさつ運動は令和元年度に15年目を迎えたほか、東京都の自治体からもあいさつ運動先進地として視察を受けるなど、その活動は定着しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により積極的な推進活動依頼が出来なかったことにより目標を達成できなかった。今後は、感染症対策を講じる中で、引き続き、こまめなあいさつ運動実施をお願いするなど、『あいさつの響きあいまちづくり』を目指した取組を進めていく。
	O103	限られた紙面内で効率的な広報に努めることへの転換が求められ、発行回数を縮減したことから、当初の目標達成には至らなかった。今後は、紙媒体に拘らず、SNS等の媒体を利用し、様々な人の目に触れる機会を創出するとともに、一斉活動の告知や実績のみではなく、あいさつがもたらす効果をわかりやすく掲載するなど、児童・生徒が率先してあいさつをできる環境の構築に努める。

O2 非行防止体制の強化									
手段（4桁コード）内容		管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O201	青少年補導センターの開設による子どもたちの見守り	青少年補導への参加者数	目標値	500人	510人	525人	535人	550人	生涯学習課
			実績値	439人	356人	356人	285人	58人	
O202	地域との連携強化	青色回転灯車両登録台数	目標値	120台	140台	160台	180台	200台	〃
			実績値	136台	133台	130台	124台	104台	
O203	警察と連携した触法事件への対応	青少年触法事件	目標値	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	〃
			実績値	事件なし	事件なし	事件なし	事件なし	事件なし	
O204	有害環境浄化対策の推進	指導施設数	目標値	0件	0件	0件	0件	0件	〃
			実績値	0件	0件	0件	0件	0件	
今年度の改善ポイントや重点方向等	O201 新型コロナウイルス感染症の影響により、街頭補導活動については夏季一斉補導のみとなったため、目標達成に至らなかった。令和3年度は、各地区を通じて青少年補導の必要性の理解促進に努め、参加者数を確保していく。								
	O202 高齢化等に伴う地域の担い手不足等により、目標を達成できなかった。今後、庁内防犯対策部門と連携を密にし、登録台数の確保に努める。								
	O203 地域や警察との連携を密にし、非行防止体制の強化を図る。								
	O204 店舗への立入調査を実施し、有害図書類の陳列方法等を確認するとともに、有害環境浄化対策に適切に対応していたらけるよう店舗への周知徹底を図った。今後も指導施設がないように情報収集と、地域との連携を図っていく。								

O3 地区青少年健全育成活動の活発化									
手段（4桁コード）内容		管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O301	地域における人づくりと人材活用	通学合宿の設置学区数	目標値	4学区	4学区	4学区	5学区	5学区	生涯学習課
			実績値	2学区	2学区	2学区	2学区	1学区	
O302	青少年育成活動の実施	放課後子ども教室の数	目標値	6教室	7教室	8教室	10教室	10教室	〃
			実績値	5教室	5教室	6教室	5教室	5教室	
O303	青少年教育の推進	善行賞の表彰者数	目標値	85人	85人	85人	85人	85人	〃
			実績値	67人	67人	98人	180人	75人	
O304	地域活動団体の推進	地域子ども会の会員数	目標値	1,100人	1,100人	1,100人	1,100人	1,100人	〃
			実績値	900人	830人	—	—	—	
O305	青少年育成市民会議の推進	地域ぐるみの青少年健全育成活動の参加者総数	目標値	500人	500人	550人	550人	600人	〃
			実績値	500人	500人	500人	500人	—	
今年度の改善ポイントや重点方向等	O301 通学合宿制度が県に移行され、学校独自の取組となったことや、市として関与する機会が減ったことにより、目標達成には至らなかった。今後、実施している学校との連携は継続して行うほか、未実施校についても実施の可否について検討を促していく。								
	O302 実施団体の高齢化等により、継続することが難しくなっている団体もあり、目標値を達成できなかったが、放課後の子どもの居場所づくりの観点から重要な施策であり、地域と連携しながら引き続き教室数の増加に努めていく。								
	O303 子どもたちの人や社会のために進んで行動しようとする意欲を高めるため、令和3年度も市内小・中学校及び行政区への推薦依頼を行うほか、市ホームページへの掲載による周知を行うなど、子どもたちの善い行いを認め、励まし、その行いの輪を地域全体で官民一体となって進めていく。								
	O304 市子ども会連合会は、子どもの人数減少や活動機会の減少などの理由により、平成29年度から休会となったことから、既存の地域子ども会を存続させていくことが大きな課題である。								
	O305 少子化に伴い育成会の活動が減少していることや、人口減少等により地域の担い手が不足していることなどの理由により、本市の育成市民会議は、令和2年6月に解散した。今後については、地域の子どもたちを地域で守り・育てるためにも、地域の方々に青少年健全育成活動に係る認識を深めていただくとともに、新たに各地域で青少年を見守る取組等を模索していく。								

O4 次世代を担うリーダーの育成									
手段（4桁コード）内容		管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O401	リーダー育成機会の拡大	夢チャレンジクラブの参加者数	目標値	2人	3人	4人	5人	5人	生涯学習課
			実績値	2人	1人	8人	17人	23人	
O402	少年教育の推進	小学生ふるさと教室の参加者数	目標値	60人	60人	60人	60人	60人	〃
			実績値	28人	38人	42人	40人	61人	
O403	年少者を指導する中高生の育成	静岡県初級・中級青少年指導者認定者数	目標値	8人	8人	8人	8人	8人	〃
			実績値	6人	5人	12人	9人	11人	
O404	地域活動団体の支援	ボーイスカウト伊東地区・ガールスカウト49・92回の活動回数計	目標値	120回	120回	120回	120回	120回	〃
			実績値	136回	112回	113回	113回	100回	
今年度の改善ポイントや重点方向等	O401	学校では体験できない本市ならではのプログラムに特化してきたことにより、市内中・高生が参加したいと思えるような講座の魅力向上に努めたほか、小学生時に体験したふるさと教室の経験から、後継を育てようという本市の次世代を担うリーダーとしての自覚の芽生えや、機運の醸成に繋がった。この結果、目標値を大幅に超える結果となったため、これら取組を継続していく。							
	O402	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、市内において様々なイベント等が中止になっていく中での開催となったこと、学校では体験できない本市ならではのプログラムに特化してきたことにより、子ども達に深い興味を与える事ができ、大幅な参加者増加となる目標達成につながる結果となった。令和3年度も継続して参加者の確保に努める。							
	O403	新型コロナウイルス感染症の影響により小学生の船は事業を中止し、夢チャレンジくらぶのみの実施となったものの、当該事業の参加者が大幅に増加したことにより目標達成につながった。令和3年度についても静岡県教育委員会と連携し、すべての級位についてわかりやすく取得出来るよう、参加者の挑戦する意欲が高まる取組を行っていく。							
	O404	小学生の人口が全体的に減少し入団者数も増えない中、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標値には達しなかったが、「伊東市青少年健全育成活動応援補助金」制度等により活動の支援を行い、成人式や按針祭など、今後も活動の場を提供することで、地域活動団体への支援を続けていく。							

4 市民の皆さんと一緒に進めていく方策

方策	《令和2年度末時点の活動状況》	《令和3年度の改善ポイントや重点方向等》
O1 地域の青少年声かけ活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 7月1日と11月1日を「伊東市あいさつ運動市民一斉活動」と位置付け、市民に参画いただく中で事業を展開してきた結果、当該活動は定着している。 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、各地区において、あいさつ運動や見回り等、声かけにより青少年の健全育成に向けた取組を積極的に実施することはできなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 本活動は、地域の大人が青少年にかかわり、継続的な取組を進めることが重要であることから、新しい生活様式の中で、新しいスタイルでのあいさつ運動や見回り等を定期的に行うなど、積極的な声かけにより青少年の健全育成に向けた取組を実施していく。